

第35回 こころの未来セミナー

介護する家族と 死別する遺族のこころを探る



Jason Danely, Ph.D

Assistant Professor, Rhode Island College (Anthropology)
Visiting Researcher, Kokoro Research Center

Jason Danely先生は、現在こころの未来研究センターの共同研究者として、京都の高齢者についての研究を行っています。高齢者介護に努める家族の語りに見られる悲嘆をはじめ、介護者の精神的な発達について検討しています。やりがい感や思いやりを感じる方がいる一方で、疲弊や悲嘆に暮れる人もいます。今回の講演では、実際の事例を通して見える介護者のこころについてお話していただきます。



John R. Jordan, Ph.D

Clinical Psychologist, Pawtucket, RI and Wellesley, MA, USA

John Jordan先生は、自死や突然死に基づく遺族の悲嘆研究の第一人者です。トラウマ的な突然死による『トラウマ的悲嘆』は、遺族にこころの麻痺をもたらし、周囲の人々にも鬱病や、時には自死の様な『二重の不幸』を与える可能性があります。今回の講演では、9.11や3.11で見られたようなトラウマ的突然死の悲嘆を、どのように理解し対応できるのかということについてお話していただきます。

※今回のセミナーは英語で行なわれます。通訳はありません。 (和文配布資料あり)

2014年6月3日(火) 15:00～17:30 (受付開始14:45～)

受講資格: とくにありません 受講料: 無料 申し込み: 不要

京都大学 稲盛財団記念館 3階 大会議室

(京都市左京区吉田下阿達町46〔吉田キャンパス川端近衛南東角〕)

<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>

※17時以後は正面入り口が閉まりますので、南裏口(駐車場側)よりご入場ください。



お問い合わせ



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER • KYOTO UNIVERSITY
こころの未来研究センター

問い合わせ先: 京都大学こころの未来研究センター リエゾンオフィス (Tel: 075-753-9681)
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/index.html> e-mail: kokoro-liaison@educ.kyoto-u.ac.jp